

雲仙・普賢岳噴火 10 年復興記念事業

雲仙・普賢岳の噴火災害の影響による観光客は、平成2年を100%とした場合、平成12年時点では、島原半島全体で30%の減少、島原市で25%の減少となっており、その後の不況とも相まって、観光に軸足を置く島原半島の地域活性化のブレーキとなっていた。

こうした事態を改善するため、長崎県では民間団体、報道機関、学識経験者、国・県・市町よりなる「雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業実行委員会」（委員長：金子原二郎長崎県知事）を発足させ、関連する各種イベントなどを雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業として集約し、統一的に広報・実施することにした。

この事業は、これまで全国から寄せられた物心両面からの支援に対する感謝の意を込めて、復興状況や地域住民の復興に向けた熱意とその取組みなどを全国へ情報発信することによって、島原半島の地域活性化のための事業促進を図るものである。

委員会は、こうした目的を達成するため、具体的に次の事業を行っていた。

(1) 雲仙・普賢岳噴火 10 年復興記念事業の統一的広報を実施

事業の統一的広報を実施することとし、統一ロゴマーク（図-10.2.1）や、キャッチコピー「ありがとうきてみんね 島原半島」が決められた。

また、事業に関するポスター、チラシが作成され、各種媒体で全国に情報発信の広報が行われた。



雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業

図1 統一ロゴマーク

(2) 雲仙・普賢岳噴火 10 年復興記念式典の開催（平成12年11月17日）

作文、絵画、フォトコンテストの実施、記念式典などが計画・実施された。平成12年3月の千本木1号・水無川2号砂防ダム竣工式を皮切りに、半島全体で、各種のイベントが進められた。特に、再噴火のあった11月17日を中心に各種イベントが催され、国内外から多数の関係者が参加するとともに、テレビ、新聞などのマスコミにも大きく取り上げられ、全国に復興情報を発信することができた。

表1 雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業実行委員会名簿

構成	所属団体・役職等	氏名
民間 (6人)	島原商工会議所会頭 南高地区商工会連絡協議会長 島原半島観光連盟会長 南高・島原地区農協連絡協議会長 南北高海区漁業協同組合会長 島原ボランティア協議会長	森本元成 松本洋三 村中勝美 森永国勝 関 富夫 宮本秀利
報道関係 (8人)	株式会社長崎新聞社 代表取締役社長 株式会社島原新聞社 代表取締役 NHK長崎放送局長 長崎放送株式会社(NBC) 代表取締役社長 株式会社テレビ長崎(KTN) 代表取締役社長 長崎文化放送株式会社(NCC) 代表取締役社長 株式会社長崎国際テレビ(NIB) 代表取締役社長 株式会社ケーブルテレビジョン島原常務取締役	小川雄一郎 清水 強 渡辺紘史 富田忠博 金子源吉 島崎春彦 川口 勉 清水真守
学識経験者	九州大学島原地震火山観測所長	鈴木貞臣
国機関 (5人)	環境庁 雲仙天草国立公園雲仙管理官事務所管理官 林野庁 長崎森林管理署長 気象庁 雲仙岳測候所長 建設省 長崎工事事務所長 建設省 雲仙復興工事事務所長	蟹江志保 伊藤新也 高瀬 進 西野賢治 古賀省三
地元市町 (17人)	島原市長 有明町長 国見町長 瑞穂町長 吾妻町長 愛野町長 千々石町長 小浜町長 南串山町長 加津佐町長 口之津町長 南有馬町長 北有馬町長 西有家町長 有家町長 布津町長 深江町長	吉岡庭二郎 木下康博 松尾耕之助 吉田良茂 藤田 徹 松浦末利 床井一郎 松藤壽和 松本安男 元山芳晴 三原松朗 松尾義博 高木英俊 佐藤寿信 藤原米幸 吉岡 勉 横田幸信
県 (2人)	長崎県知事 長崎県島原振興局長	金子原二郎 南里雅彦



雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業



噴火の年に生まれた、大野木福小学校3年の児童のみなさん。
今年で元気に10歳！
大噴火で消失した校舎も、みなさんのおかげで今年と暮ら。自然のめぐりも感謝した新校舎に生まれ変わりました。

雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業実行委員会
事務局／長崎県企画部地域政策課内／〒850-8570
長崎市江戸町2-1-13／電話095-826-9645

雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業
期間／平成12年3月～12月
(島原半島内でさまざまなイベントを開催)

ありがとう
きてみんなね
島原
半島

あの噴火から10年。
おかげさまで私たちの島原半島
は、とても元気になりました。
これからも笑顔で頑張ります！

図2 雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業

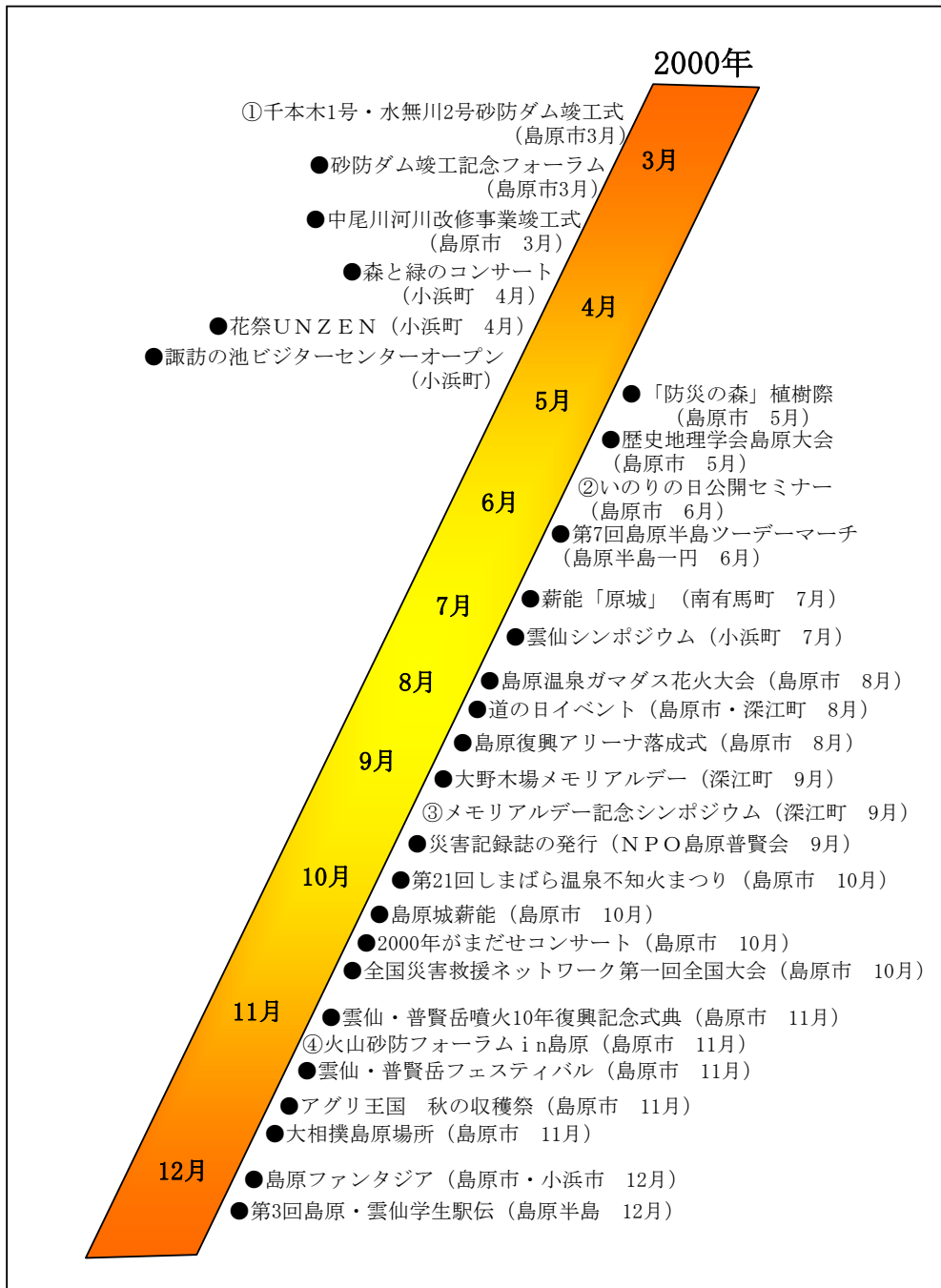


図3 雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業（主な行事など）

①～④は雲仙復興工事事務所が主催するもの